

独立行政法人都市再生機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

JA 福岡京築（代表理事組合長 時本 数章、以下「当 JA」という）は、このたび、独立行政法人都市再生機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンドへの投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、「社会貢献債」とも呼ばれ、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券です。

ソーシャルボンドにより調達された資金は、同機構が実施するソーシャルプロジェクトの財源として活用され、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標（SDGs）^{注1}の達成に貢献します。

当 JA は『地域の「農」を育む活動を通じ、地域に笑顔と元気を発信します』を基本理念としていることから、社会の一員として、持続可能な社会の実現に積極的に貢献したいと考えています。

同機構への投資が、我が国が抱える「人口減少、少子高齢化、東京一極集中という経済社会構造上の大きな課題」や、「巨大地震や気候変動に対応するための防災、減災、インフラの老朽化対策の必要性」という社会課題を解決し、また「大規模災害発生時における復旧・復興支援」が持続可能な農業の推進に寄与し、地域経済の発展に繋がっていくことを期待しております。

当 JA は今後も適切なリスク管理のもと、SDGs 債への投資を通じて持続可能な社会の実現に貢献できるよう協同組合としての社会的使命・役割を果たして参ります。

注1）持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと